

行事報告

第21回大阪大学と上海交通大学共催ワークショップの報告

接合構造化解析学分野 教授 麻寧緒

2019年11月19日～20日に第21回大阪大学－上海交通大学学術交流ワークショップが大阪大学吹田キャンパスで開催されました。本ワークショップは、当時の溶接工学研究所が溶接分野を中心とした先方との国際共同研究が起源となり、1995年から始まった国際交流であり、昨年、「材料・接合」「情報」「物理・レーザー」「船舶海洋」「スマートシティ」の5つの分野まで展開しました。

両校の全体ワークショップは、19日午前で行われました。19日午後と20日午前、「材料・接合」分野のジョイントワークショップを、接合研特別会議室にて開催しました。本ジョイントワークショップには、上海交通大学から8名、大阪大学から20数名（接合研から教員10名、工学部から教員1名、大学院生ら10数名）が参加し、両大学が出資したSeed-fundによる国際共同研究の成果報告を含めて5件ずつ計10件の講演を行い、深い議論ができました。今後、Seed-fundによる共同研究成果を国際共著論文として発表する予定です。

また19日夜に千里阪急ホテルにて行われた本学主催の歓迎会と交流会では、上海交通大学・黄副学長と大阪大学・河原副学長からそれぞれ挨拶があり、溶接工学分野から始まった40年間の学術交流歴史を回顧しました。両大学接合分野の先生が同じテーブルで深い交流を行いながら、国際共同研究の深化を推進することを確認しました。その際、麻教授より河原副学長と黄副学長に対して1979年での両学の交流写真（接合研名誉教授・上田幸雄先生と上海交通大学元副学長・陳礎先生）を紹介しました。交流会の最後に黄副学長・河原副学長が接合分野のテーブルまでお越しいただき、更なる交流発展への期待の言葉を頂戴しました。

